

# 旧居留地連絡協議会 防災委員会について



# 説明内容

**旧居留地の沿革**

**旧居留地連絡協議会の組織**

**復興の目標**

**活動の内容**

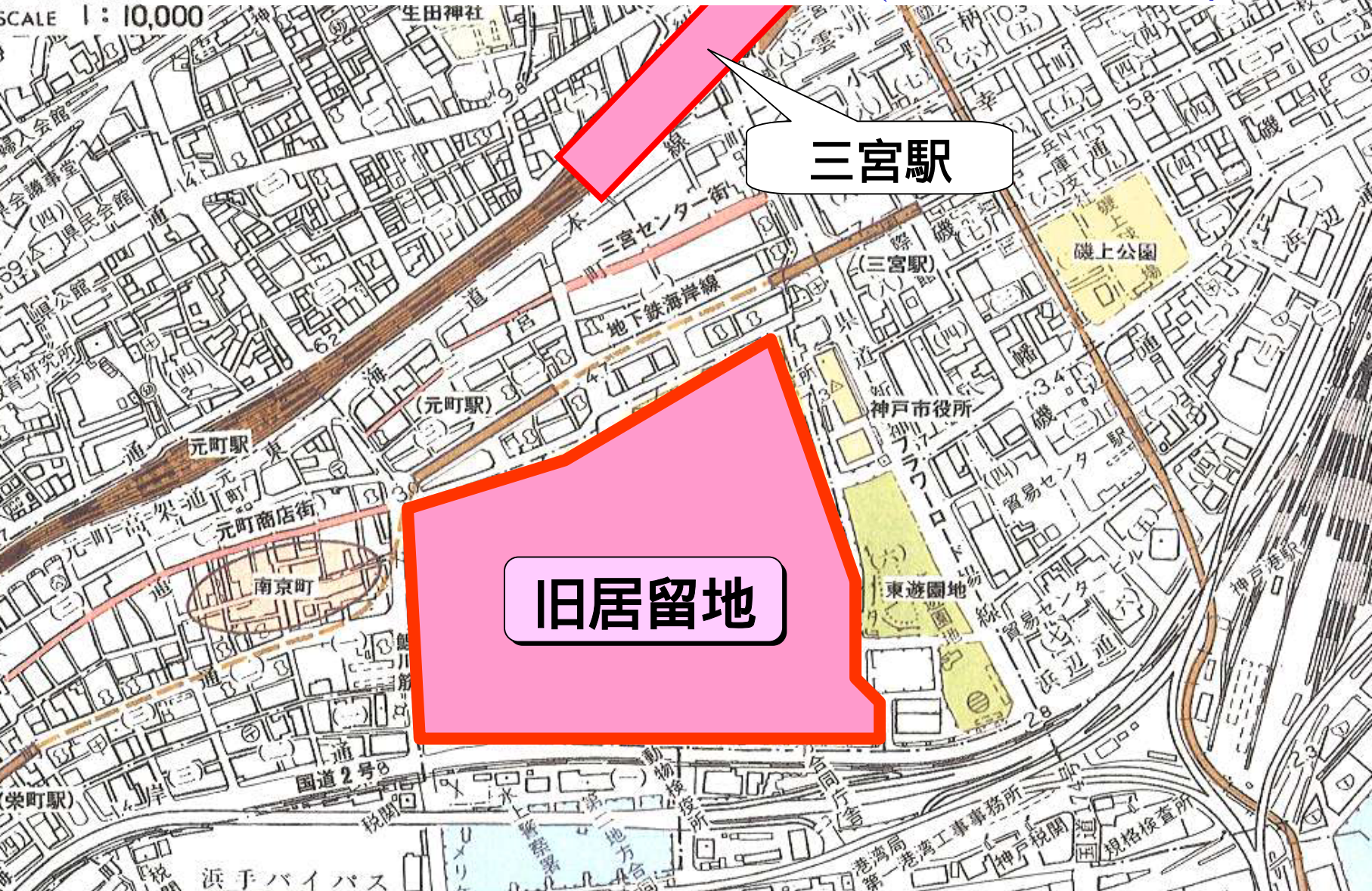
- ・「防災マニュアル作成の手引」策定
- ・「地域防災計画」の策定
- ・その他



# 旧居留地連絡協議会の位置

(面積約26ha)

SCALE 1 : 10,000



三宮駅

旧居留地



# 旧居留地の沿革

1858年(安政5年) 修好通商条約(江戸幕府の鎖国終止符)

1868年(慶応3年) 開港  
1/1 12/7

1869年(慶応4年) 神戸外国人居留地設置  
9/10 7/24  
目的:外国人のための住居や通商の場  
範囲:東は生田川、西は鯉川筋 } 約26ha  
北は西国街道、南は海岸 } 500m × 500m  
(田畑や砂地を埋め立てて設置)

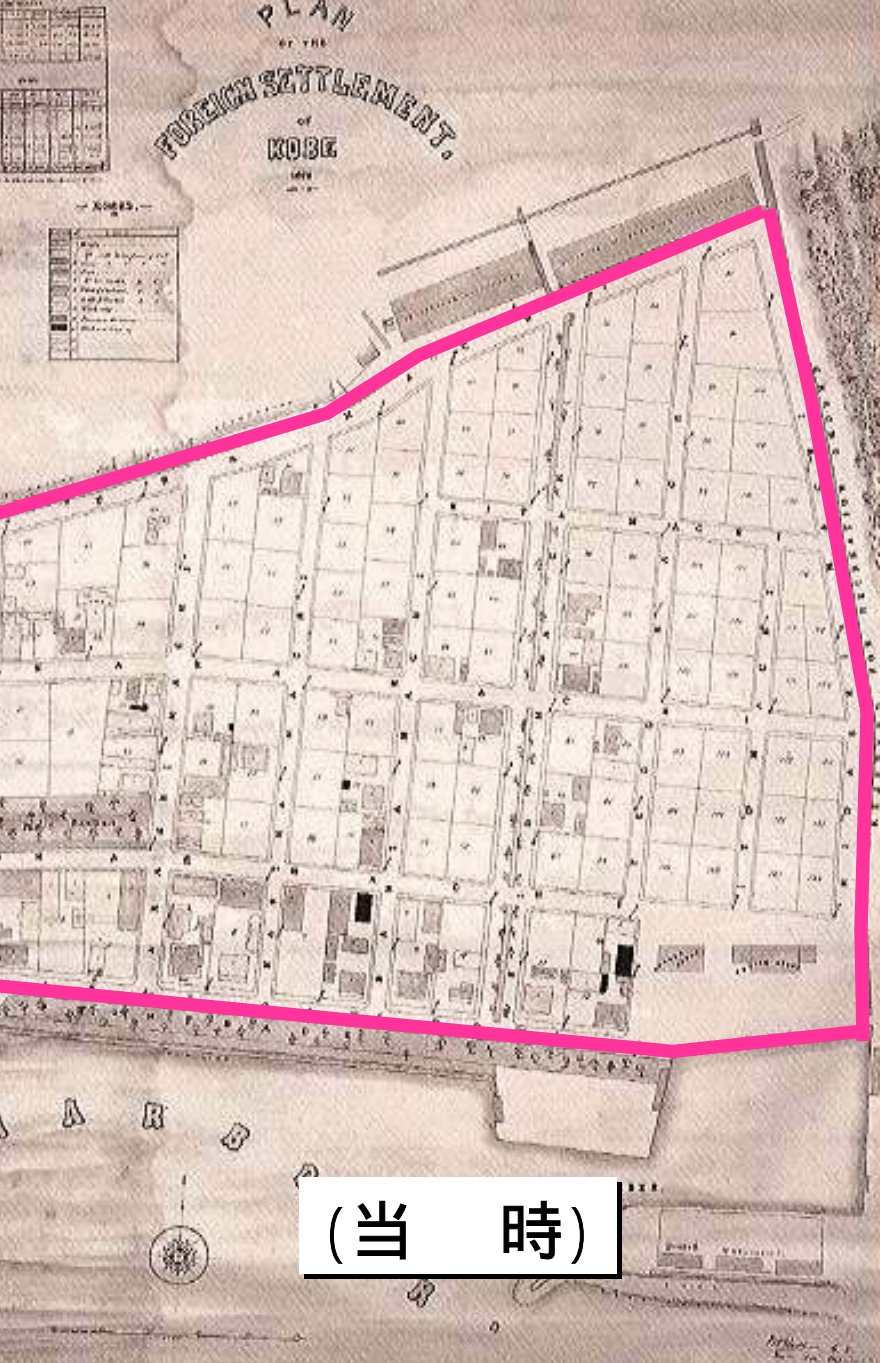
30年間

1873年(明治6年) 126区画、競売にて売却(4回)

1875年(明治8年) 全体の体裁が整う

1899年(明治32年) 日本に返還  
7/17

日本の海運会社・商社・銀行等が進出し、国際的近代都市として神戸を代表する都市業務地として形成された



# 旧居留地の沿革

1858年(安政5年) 修好通商条約(江戸幕府の鎖国終止符)

1868年(慶応3年) 開港  
1/1 12/7

1869年(慶応4年) 神戸外国人居留地設置  
9/10 7/24  
目的:外国人のための住居や通商の場  
範囲:東は生田川、西は鯉川筋 } 約26ha  
北は西国街道、南は海岸 } 500m × 500m  
(田畑や砂地を埋め立てて設置)

30年間

1873年(明治6年) 126区画、競売にて売却(4回)

1875年(明治8年) 全体の体裁が整う

1899年(明治32年) 日本に返還  
7/17

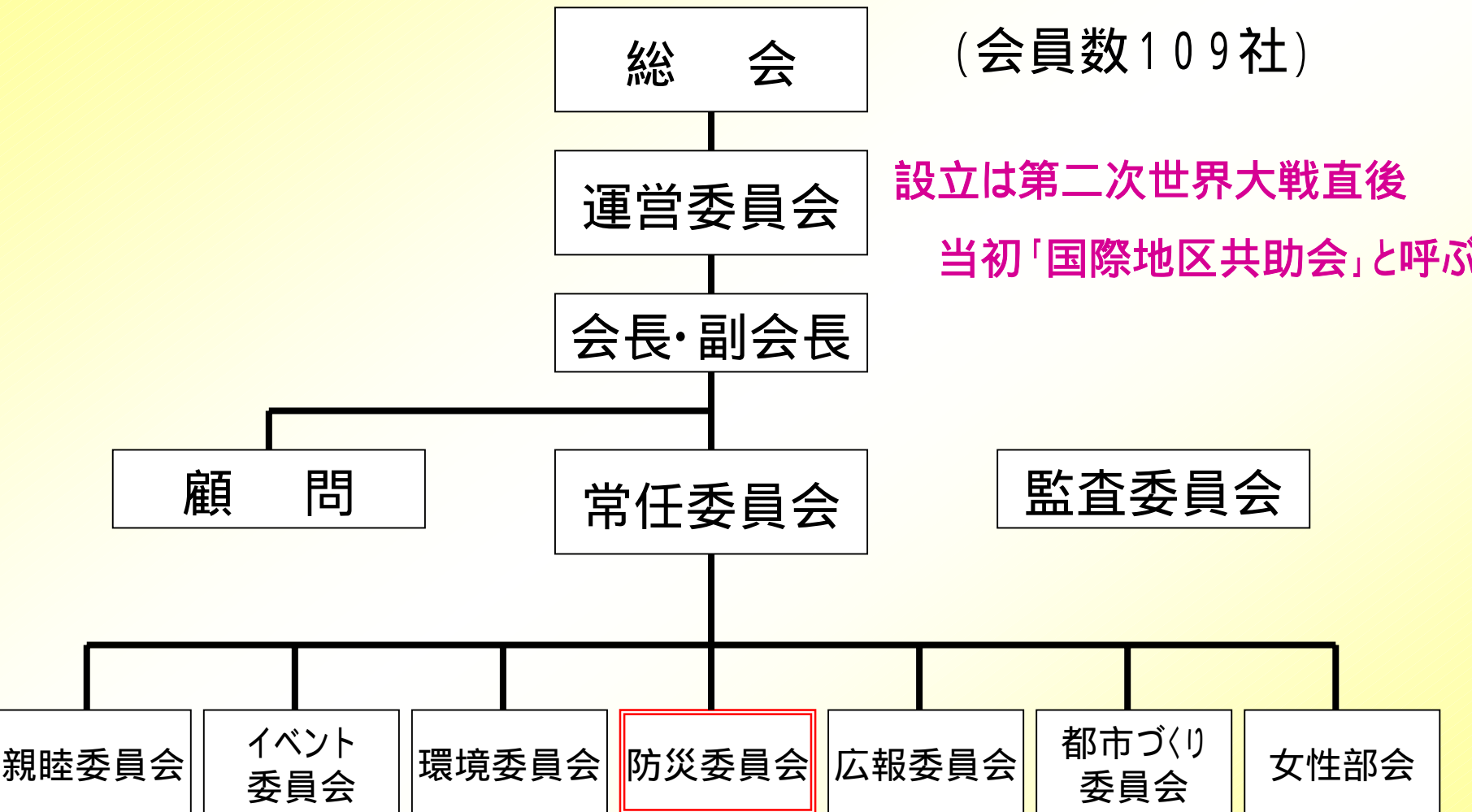
日本の海運会社・商社・銀行等が進出し、国際的近代都市として神戸を代表する都市業務地として形成された





明治30年頃の居留地(模型)

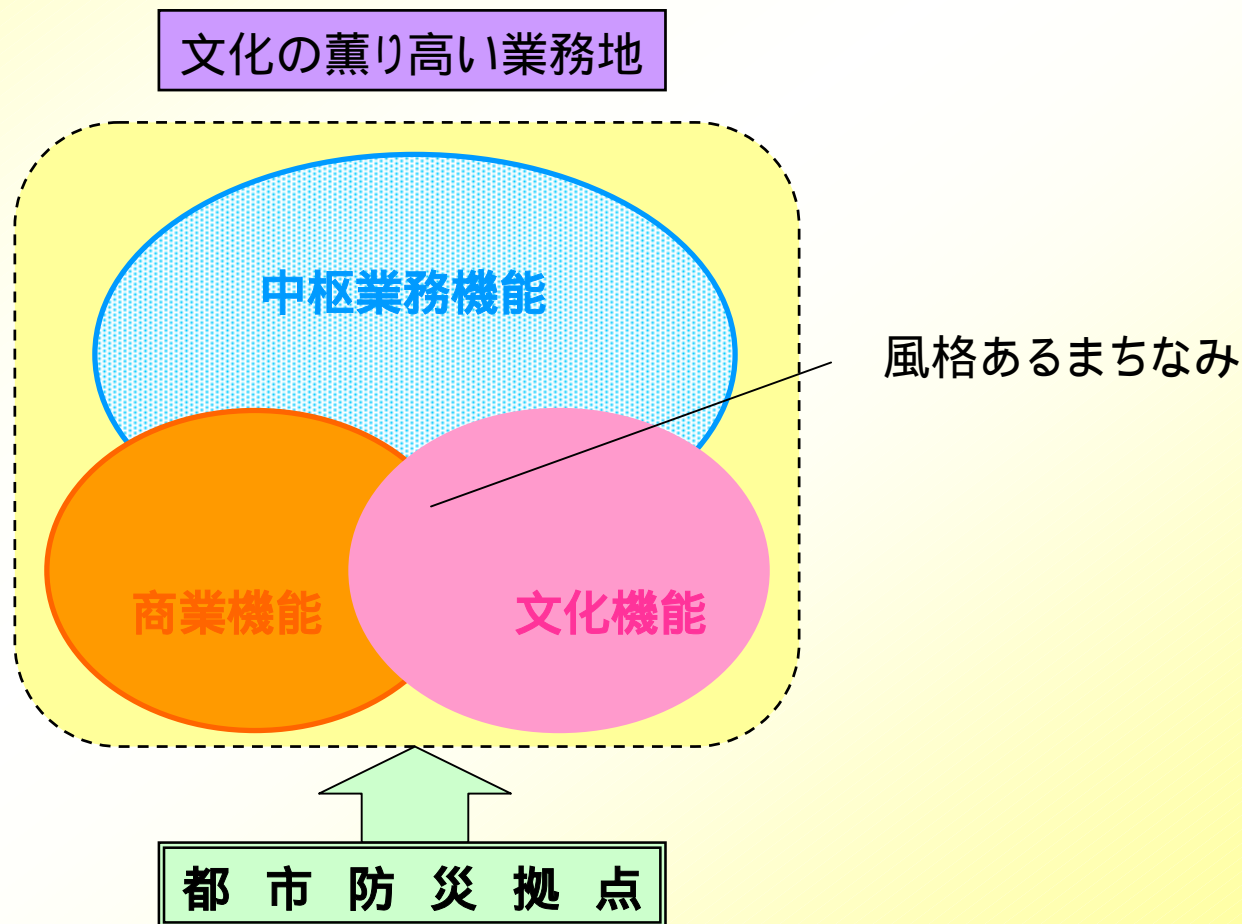
# 旧居留地連絡協議会の組織構成と活動内容(現在)





# 《復興の目標》

早期のビル再建を促進し、神戸の都心中枢にふさわしい、安全で文化の薫り高い業務地を形成する。



1995年10月  
(平成7年) 「神戸旧居留地 / 復興計画」策定

1997年3月  
(平成9年) 「神戸旧居留地 / 都心<sup>まち</sup>づくりガイドライン」策定

1998年1月  
(平成10年) 「防災マニュアル」作成の手引作成

1999年  
(平成11年) 神戸居留地返還100年祭

2001年1月  
(平成13年) 「神戸旧居留地 / 地域防災計画」策定



神戸旧居留地／復興計画

神戸旧居留地  
都心<sup>よ</sup>つくりガイドライン

事業所のための  
『防災マニュアル』作成の手引き

復興委員会

# 防災委員会の主な活動状況

平成 8年10月 防災委員会新設（結成）  
毎月17日開催

平成10年 1月 「事業所のための『防災マニュアル』作成の手引き」  
策定・配布  
自社の人命と財産は自社で守る

平成13年 1月 「神戸旧居留地 / 地域防災計画」策定・配布  
非常時には街全体が一次避難所として活用  
しうるような街づくりをすすめていく



# 防災委員会 (会議風景)



あの  
大震災に学ぶ

# 神戸旧居留地・地域防災計画

2011年1月17日



旧居留地連絡協議会



# 計画策定にあたっての基本的考え方

## 非常時における旧居留地内企業の相互支援をスムーズにする

- ・ 各社における人命と財産は、自社で守る
- ・ 不足する事柄について、相互支援を準備する

## 非常時における来訪者を助ける

- ・ 人命を助ける
- ・ 一刻も早い帰宅、帰社を助ける
- ・ 帰宅困難者に対し、行政の態勢が整うまでの間、待避環境を提供する

日頃から、防災意識を育み、訓練を怠らない(普段の備え)

# 神戸旧居留地 地域防災計画の概要

## (1)非常時の相互支援

電子メール等の活用によるネットワーク構築、隣組の組織化

## (2)非常時の来訪者支援

救護、情報提供コーナー設置、帰宅困難者への一時待避場所提供

## (3)普段の備え

市民救命士、市民防災リーダー養成、各種訓練の実施、計画の定期点検

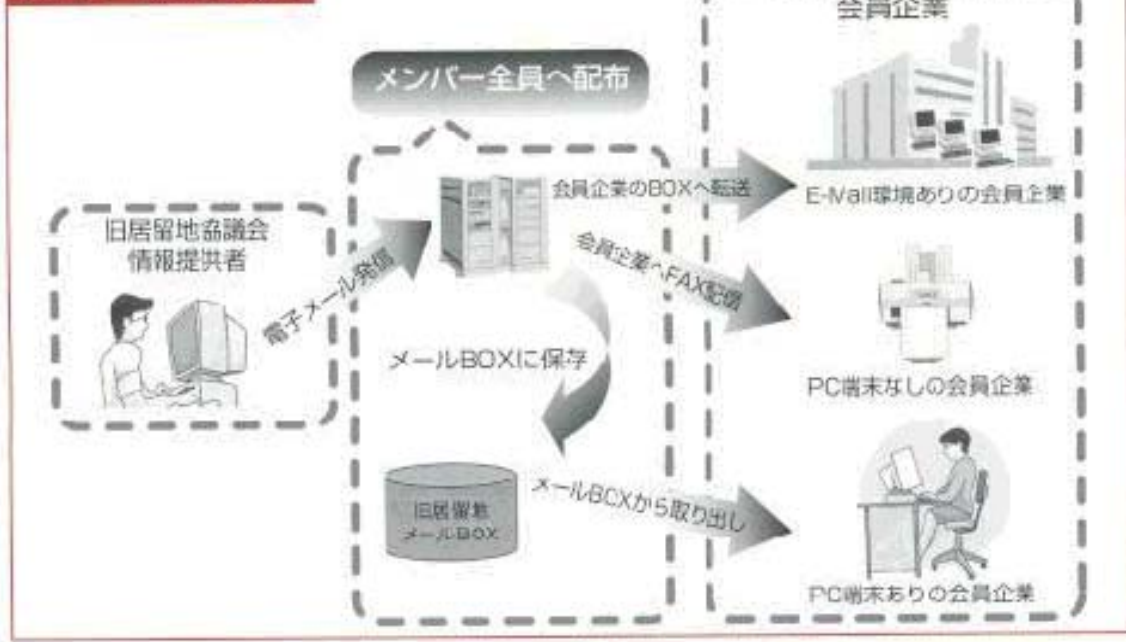
## 目 次

1. 非常時の相互支援	2
1-1 安全・安心ネットワーク	3
1-2 居留地隣組	4
1-3 備蓄	5
2. 非常時の来訪者支援	6
2-1 命を助ける	8
2-2 情報を提供する	10
2-3 一時待避の手助け	12
3. 普段の備え	13
□ 資料・マニュアル編	15
資料-1(資源) 医 療	16
資料-2(資源) 情 報	18
資料-3(資源) 防 災	19
資料-4(資源) 備 蓄	20
マニュアル1 防災拠点コーナーの開設	21
マニュアル2 救護コーナー	22
マニュアル3 情報提供コーナー	23
◆ 居留地隣組 世帯者	24

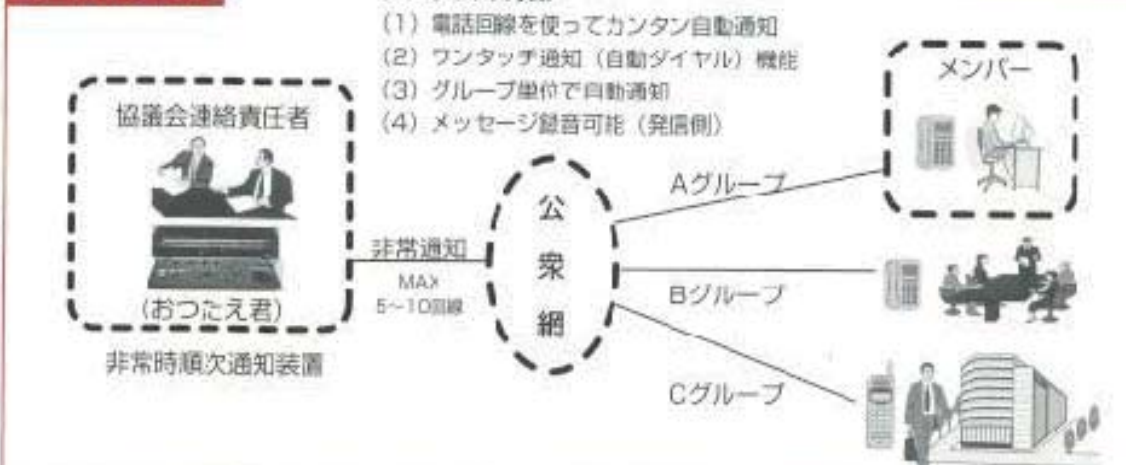


# 1-1 女心・女全ネットリーグ

## 電子メールによる通知



## 音声による通知



# 1-2 居留地隣組



# 居留地隣組

北東 Ⅰ ブロック	1	2	3	4	5	1 2 3 4 5 6 7
	○ストロングビル 第一樓 みどりカードサービス 大興石油 IMONビル	○大神ビル 三宮ニクセレントビル シティアイフ三宮ビル 神戸シルクセンタービル 神戸ポート郵便局	○高砂ビル 三井生命スカイビル 住友生命三宮ビル 今西ビル 第一デリヤビル 商工中金 江戸町東町ビル	●日本ビルテック 神戸ナショナルビル 神戸銀行協会 神戸ベルエポック専門学校 クリエイティブビル	○福栄ビル 神栄ビル 入江ビル 京町栄光ビル 華光ビル 朝日生命京町ビル 電通神戸ビル	
	6	7	●各ビルの詳細については、資料「マニュアル編 (居留地隣組 担当者) (P24~)」をご覧ください。			
	●関西電力 真珠会館 淀屋ビル 箕野ビル 三井生命 住宅(サン・A、アイヤ) 三宮伊藤町ビル みさと銀行業務センター 伊藤町第一生命ビル	○K.O.B.神戸ビル ペイキング神戸ビル トウエン神戸ビル 日本貨物株式会社 建泰ビル 日本銀行 NTT神戸中央ビル				
	8	9			10	
○15番館ビル 市立博物館 C.U.O.神戸ビル	○第2神港ビル(東京海上) 神港ビルテック デビスパーキング チャータードビル 建隆ビルⅠ・Ⅱ	●新明海ビル 海岸ビル 商船三井ビル 大徳ビル 大日明石町ビル 泰和ビル 向和火災海上保険 常盤ビル 明海ビル			○農業会館 NTT新神戸ビル デビスパーキング 三井日産ビル	
12	13	14			15	
北西 Ⅳ ブロック	○松岡ビル 山本ビル 新クレスセントビル 三宮第一生命ビル (仮)京町萬里ビル 建大ビル ホテルヴィアマーン	○朝日ビル 神戸信用金庫 兵庫県信用保証協会 NTTファシリティーズ 三宮電々ビル さくらケーシーエス さくら銀行	○神戸旧居留地平和ビル 神戸ダイヤモンドビル ニッケビル 東神ビル THE 45TH	●大丸 大丸カーポート 住友生命神戸ビル 三菱信託銀行神戸ビル	1 2 3 4 5 6 7	

●：ブロックリーダー ○：隣組リーダー



# 1-3 備蓄

## 共同備蓄品リスト

### (救助機材)

油圧式ジャッキ、ハンマー、つるはし、携帯用コンクリート粉碎器具、バール、スコップ、金のこぎり、ボルトクリッパー、雨着、救命浮輪、救命胴衣、皮手袋、防塵マスク、防塵メガネ、ヘルメット、救助用ロープ、携帯用発電機(燃料缶付)、投光機(三脚付)、コードリール、携帯用電灯、サルベージシート、折りたたみ担架、折りたたみリヤカー、二連はしご

### (排水・消火機材)

小型動力消防ポンプ(ホース付)

### (医療機材)

外傷救急医薬品一式、毛布

### (生活機材)

仮設トイレ、ポリタンク(20リットル)

### 備蓄場所



備蓄品目は、人命の救助・維持という観点から、必要と考えられる資機材に限定

備蓄場所についても、今後増設し、分散管理を実現する予定

備蓄品は、毎年、原則として1月17日と7月17日に点検

# 2-1 命を助ける

## 救護コーナー

住所	ビル名	設置場所
明石町40	大丸神戸店	1階コリドール
明石町32	明海ビル	1階ピロティ
浪花町59	神戸朝日ビル	1階ピロティ
東町123-1	貿易ビル	1階ロビー

## 救護コーナーの開設場所



地区内にいる医師、看護婦の派遣

市民救命士の出動



## 2-2 情報を提供する

情報提供コーナー	住所	ビル名	設置場所
	明石町40	大丸神戸店	1階コリドール
	浪花町59	神戸朝日ビル	1階ピロティ

### 情報提供の内容

災害の種類に応じて必要な情報を選択)

#### 被害状況：

神戸市災害対策本部の発表を中継し、会員各社の被害状況、安否情報を把握・連絡する。

#### 交通情報：

公共交通機関や道路の状況を把握し、連絡する。

#### ライフライン情報：

ライフラインの被害、復旧状況について把握し、連絡する。

#### 避難情報：

避難勧告などの公的機関発表を中継。

#### 施設情報：

近隣の食料品店情報、緊急対応可能業者情報、ホテル空室情報等。

### 情報提供コーナーの開設場所





## 2-3 一時待避の手助け

### 一時待避場所の提供

非常時には、**地区内全ビル**で帰宅困難者等の受け入れをお願いします。

会議室や廊下等、雨露のしのげる一時避難場所を可能な範囲で提供して下さい。

一時待避コーナーでは、行政の対応が可能になると考えられるまでの**最長72時間**、トイレの提供等、最低限の生活支援をお願いします。

# 3 普段の備え

## 市民救命士

旧居留地内で1,000人の市民救命士養成を目標に、講習会を年2回開催する(現在518名)。

## 市民防災リーダー

各居留地隣組ごとに2名の市民防災リーダーを確保することを目標に、消防署が行う防災リーダー研修に順次参加する(現在38名)。

## 防災訓練

毎年、次のようなスケジュールで防災訓練を実施する。

## 意識啓発

- ・居留地ニュース等への防災関連情報の掲載
- ・総会や例会における防災講習

	自主訓練	他への参加
1月	地震関連訓練	
2月		
3月		火災予防運動行事
4月		
5月		
6月	水害・高潮対策訓練	中央区防災訓練
7月		
8月		
9月		全市防災訓練
10月	救護訓練	中央地区消防大会
11月		火災予防運動行事
12月		

## 地域防災計画の定期点検

毎年1月、地域防災計画が実情に合致しているか、防災委員会が中心となって点検する。



救出訓練





大規模災害時協力がソリンスタンドによる救出応援





事業所内市民救命士による応急手当で





事業所内診療所医師による負傷者トリアージ





帰宅困難者支援訓練





帰宅困難者に対し、飲み物や手布の支給



消火器による初期消火訓練





屋内消火栓による消火訓練